○ QSLカード印刷 Rig/Ant設定 定義ファイル編集 QSLの定義 条件命令 各項目 選択して印刷 プリンタ設定 ADIF

QSLカードに印刷するデータのうち、バンドごとに自局のリグ/リグの終段入力(または空中線電力)/アンテナ/アンテナ高/備考/運用 場所/その他を設定しておきます。

ここで設定した内容は、**RIGANT.DAT**というファイル名のテキストファイルで保存されます。 これは、INIファイルと同じ形式ですので、知識があればエディタで直接修正ができます。

1	Rig/Ant	tの設定	(F2キーで編集)					
No	Freq		Rig	Power	Ant	High	Rmks	Location	Etc
5	430	TM 000)//	10 0	.	10	今後ともよろしくお願	〔山岳移動	430MHz
6			1171/195 1行下へ移動	h					
7	7	IC-	1行挿入		Ctrl+Ins		今後ともよろしくお願	<u></u>	7M移動
8	144	IC	1行削る		Ctrl+Del	2	今後ともよろしくお原	<u>ă</u>	144移重
9	430	TM	Ria/Antデー	夕を聞く			今後ともよろしくお願	<u>Ă</u>	430移重
10	1200	TM	Rig/Antデータに名前を付けて保存				今後ともよろしくお願	<u>ă</u>	
11	3.5	IC	最大登録件数の変更	如変更			今後ともよろしくお願	<u>ă</u>	3.5移重
12			閉じる(C)						
10						211	THE OPO OLL ACM	田中)第田	14M-DV

QSLカード印刷ダイアログで、Rig/Ant確認ありがチェックされていない場合

Rig/Antを上から順に探し出して、最初に該当するバンドがあったらそこのRig/Antを印刷します。

この場合、該当するバンドが無かったら、たまたま偶然のRig/Antを印刷します。(^_^;)

QSLカード印刷ダイアログで、Rig/Ant確認ありがチェックされている場合

印刷時にこのウインドウが開き、選択します。

📸 Rig/Anto	確認 (Enterキーで)	実行/EscキーでF	中断)
No Freq	Rig	Power	Ant

Escキーを押すと中断します。

Enterキーで該当する行を選択します。0~9の数字キーでも直接選択することができます。

QSL定義ファイルの命令で#Rig#8のように直接行番号が指定されていれば、バンドに関係なく、ここの8番目のリグやアンテナが印刷され ます。

※注この数字が1未満またはRig/Antデータの上限を超えている場合は、無視されます。

QSL定義ファイルの命令で#Rig=7M移動のようにEtc欄の文字列が指定されていれば、バンドに関係なく、このウインドウのEtc欄に7M移動 という文字列が入っている行のリグやアンテナが印刷されます。

QSOデータと関連付けるには・・・

<u>QSOデータの</u> Remarks 1 か 2 に Rig #10のように文字列が入力されていれば、バンドに関係なく、ここの10番目のリグやアンテナが印刷され ます。

QSOデータのRemarks1か2にRig=7M移動のように文字列が入力されていれば、バンドに関係なく、このウインドウのEtc欄に7M移動という

図のように、**右クリック**したときのポップアップメニューで、Rig/Antデータを記憶したファイル(RIGANT.DAT)のフォルダ変更や、 Rig/Antデータの最大登録件数の変更などができます。

ポップアップメニューでは、1行移動や1行挿入・削除ができますが、行番号が変わってしまいますのでご注意ください。(※注を参照)

RIGANT.DATの登録件数の上限は999件、又はファイルサイズ64Kバイトのいずれか小さいほうです。

リグやアンテナ等の修正は、次のいずれかの方法となります。

直接文字を入力する。このとき既存の文字列は消えてしまうので、文字列を入れ直す。 F2キーを押してから、矢印キーで修正したい文字を選び、修正する。 マウスで修正したい文字を直接指定し、文字を修正する。